

ニジェール

主要データ

国名〔英名〕	ニジェール共和国〔Republic of Niger〕
面積(km ²)	1,267,000
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	17.5
人口密度(人/km ²)	13.8
GDP(十億US\$)	7.36
一人当りGDP(US\$)	443
主要鉱産物：鉱石	ウラン、金
主要鉱産物：地金	-
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省(Ministry of Mines and Energy)
鉱業関連政府機関	地質・鉱山研究所(ERGM)
鉱業法	Mining Code(2006)
ロイヤルティ	Mining Code 2006、第84条 鉱産物の最終販売価格に対し5.5%を賦課
外資法	-
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	-
鉱業公社	ERGM
鉱業活動中の民間企業	AREVA(仏)、海外ウラン資源開発(株)
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	<ul style="list-style-type: none"> AREVAが操業するウラン鉱山において、イスラム過激派組織による爆弾テロ、外国人を狙った誘拐事件が多発。 AREVAに対して地域住民による鉱山操業反対運動のデモが発生。
2013年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山の鉱業契約更新について、政府と AREVA が合意（2014年5月）。 Arlit ウラン鉱山付近でアルカイダグループに誘拐された人質が2013年10月に解放され、事件発生から3年を経て解決。 2013年5月、Arlit ウラン鉱山で車両爆弾テロにより死傷者を出し、操業を一時停止し減産。

1. 鉱業一般概況

ニジェールは、カザフスタン、カナダ、豪州に次ぐ世界第4位のウラン生産国で、2013年同国生産量は4,528t(U)と世界生産の7.6%を占める。ウランの他には、石炭、セメント、金、石灰石、錫などが少量生産される。同国の経済は主に農業とウラン精鉱の輸出に依存しているが、主要ウラン生産国でありながらも人間開発指数(HDI)は世界下位ランクに位置している。

同国では、1950年代から1960年代にかけてフランス地質調査所(BRGM)及びフランス原子力・代替エネルギー庁(CEA)等による探鉱活動が行われ、同国初となる Arlette・Arlit ウラン鉱山の商業生産は1971年に開始された。もう一つの主要鉱山である Akouta ウラン鉱山は1974年に操業を開始している。これら2鉱山は仏 AREVA がマジョリティ権益を保有して操業を行っており、同国ウラン生産の9割以上を供給している。なお、2011年から Azemik 鉱山が商業生産を開始しており、2015年までに年産2,500t(U)、2020年にはこれを倍増する計画で、現在の主要2鉱山を上回る生産量が期待されている。

る。このほか、Arlit ウラン鉱山の南部 80km に位置する現在鉱山建設中の Imouraren ウラン開発プロジェクトは将来的には年産 5,000t (U) を生産する世界第 2 位の大規模ウラン鉱床とされ、同国のウラン生産量は今後飛躍的に増加していくと見られる。

同国ではイスラム過激派組織による AREVA が操業する鉱山への襲撃及び誘拐事件が後を絶たない。2007 年 4 月に Imouraren 鉱山において武装集団による襲撃事件が発生し、2008 年 6 月には Arlit ウラン鉱山の AREVA 社員 4 名がトゥアレグ族からなる反政府組織「正義のためのニジェール運動」(MNJ) により誘拐される事件が起こった。さらに 2010 年 9 月には、Arlit ウラン鉱山付近で AREVA 社員など 7 名がアルカイダグループに誘拐され、2013 年 10 月に人質が解放されるまで解決に時間を要している。また、2013 年 5 月には Arlit ウラン鉱山においてイスラム過激派組織による車両爆弾テロが発生し、1 名が死亡、14 名が負傷し、生産設備も損害を受けて一時操業を停止した。同鉱山は 2013 年 8 月からフル生産を再開している。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・ AREVA が操業する Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山の鉱業契約が 2013 年 12 月に期限を迎え、ロイヤルティ率の引き上げを巡って両者間の交渉は 2 年以上にもわたって長期化していたが、2014 年 5 月に、新たな鉱業契約期間を 5 年間とし、ロイヤルティを従来の 5.5% から 12% に引き上げることで合意に達した。
- ・ Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山に関して、2013 年 9 月、政府は鉱山からの利益の享受が不十分として操業実態の把握とコストの適正性について監査を行うことをタチアナ鉱山大臣が明らかにした。なお、資金の透明性をチェックする NGO 団体 (Publish What You Pay) も、AREVA のニジェールでのオペレーションについては情報開示が不十分であるとこれまで指摘していた。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2011 年	2012 年	2013 年	対前年増減 比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ウラン (t)	4,351	4,667	4,528	-3.0	7.6	4

(出典：World Nuclear Association HP)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業（権益比率：％）	鉱種	2013 年生産量	備考
Arlit 鉱山	SOMAIR 社（AREVA (63.6)、ニジェール国営地下資源関連事業会社 (36.4)）	ウラン	2,730t	1971 年生産開始 露天採掘鉱山 年産能力 3,000t 合計生産量 58,400t
Akouta 鉱山	COMINAK 社（AREVA (34)、ニジェール国営地下資源関連事業会社 (31)、海外ウラン資源開発 (25)、Empresa Nacional Del Uranio SA (10)）	ウラン	1,508t	1974 年生産開始 坑内採掘鉱山 年産能力 2,000t 合計生産量 65,900t
Azelik 鉱山	SOMINA 社 (China Nuclear International Uranium Corporation (SinoU) (37.2)、ニジェール政府 (33)、ZXJOY Invest (中国) (24.8)、KORES (5)）	ウラン	290t (推計)	2011 年生産開始

(出典：World Nuclear Association HP、AREVA HP)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況

プロジェクト名	鉱種	保有企業（権益比率：％）	備考
Imouraren	ウラン	AREVA NC (56.65)、ニジェール政府 (33.35)、Korea Electric Power (KEPCO) (10.00)	2015 年下期生産開始予定 資源量 213,700t (U 品位 0.07%)、概測資源量 62,500t (U)
Abokorum		China National Nuclear Corp., ニジェール政府	
Adrar Emoles		Global Atomic Fuels Corp. (100)	
Madaouela		GoviEx Uranium(100)	2017 年商業生産開始予定 生産能力 1,000t/年
Takardeit		Paladin Energy Ltd. (100)	
In Gall		ニジェール政府 (77)、Private Interest (23)	
Tin Negouran		Global Atomic Fuels Corp. (90)、ニジェール政府 (10)	
Abelajouad		Orezone Gold Corp. (66.7)、Legend Gold Corp. (33.3)	
Agelal		Homeland Uranium Inc. (100)	
Terzemasour 3		African Uranium SARL	
Tuluk		Gazprombank (100)	

(出典：各社 HP)

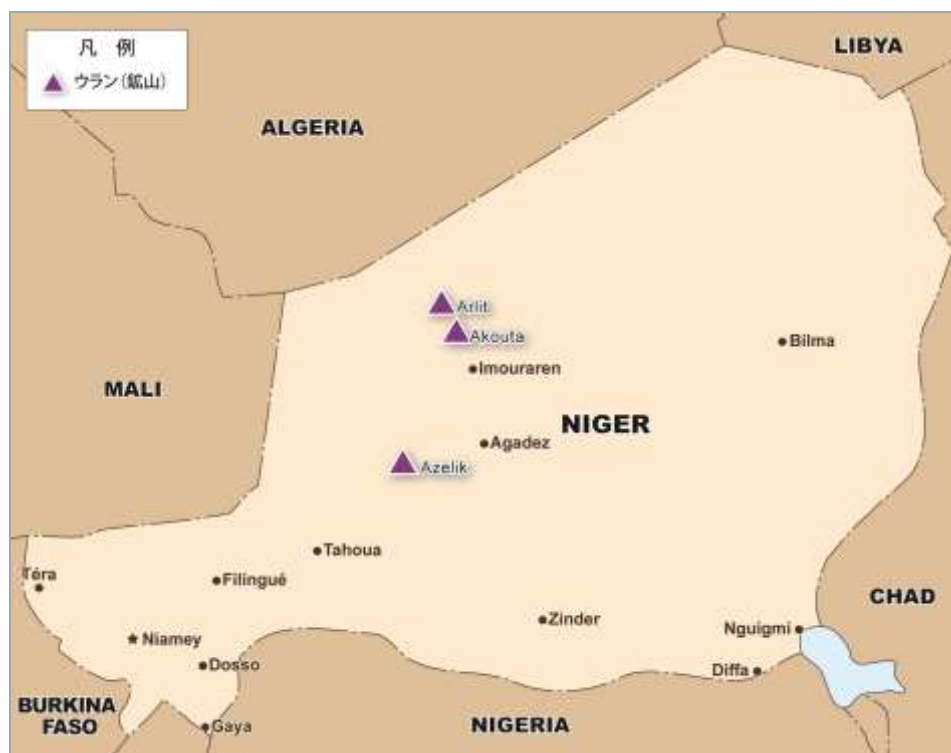


図 1. 主要鉱山等位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ 海外ウラン資源開発がAkoutaウラン鉱山の権益25%を保有している。同社は1970年に設立され、東京電力、DOWAホールディングス、関西電力、中部電力、三菱マテリアルが株主となっている。
- ・ 東芝は、加GoviEx Uranium Incとの間でウラン精鉱引取に関する契約を2012年4月に締結し、加GoviEx Uranium Incが発行する転換社債3,000万US\$を引き受け、東芝連結子会社が保有する20万lbウランを貸し付けることにより、加GoviEx Uranium Incが保有するMadaouelaウラン鉱山のフル生産が開始される2020年から14年間にわたり230t/年(U)を優先的に引き取る権利を有している。

7. その他トピックス

- ・ AREVA が操業する Arlit ウラン鉱山の位置する Arlit において、2013 年 10 月、数千人の地域住民が AREVA に対し、住民への裨益が少ないとして鉱山操業に反対するデモを行った。現行の鉱業契約では、AREVA は年間 2 千万 m³の水を無償で使用できると規定されているが、現地では水不足に悩まされており、住民は契約の片務性は正について強く要望している。
- ・ Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山の鉱業契約更新に際して、2014 年 5 月、ロイヤルティ率を従来の 5.5%から 12%に引き上げることに加え、Arlit ウラン鉱山北部の道路建設に 9,000 万€、地域開発投資に 1,700 万€を支払うほか、首都ニアメに鉱山操業のための新たな事務所を 1,000 万€を投じて建設することで AREVA は政府と合意したとされる。
- ・ Imourarenウラン開発プロジェクトについて、生産開始時期について、AREVAは当初予定の2013年末から治安情勢の悪化等を理由に2015年に延期し、2013年1月、開発遅延に伴う賠償金として政府に

3,500万€を支払った。Mahamado Issoufou同国大統領は、2016年の大統領選挙前の生産開始を熱望していたが、生産開始時期については、足元のウラン価格低迷によりさらに遅れる可能性がある。当該プロジェクトは、1966年にCEAの調査によりウラン鉱床が発見されて以降開発には至っていなかったが、2009年1月にAREVAが操業権を取得して同年5月から鉱山建設が開始された。これまでの投資金額は12億€で、ウラン資源量は213,700t(U品位0.07%)及び概測資源量62,500t(U)とされる。

(2014.7.31 ロンドン事務所 竹下聡美)